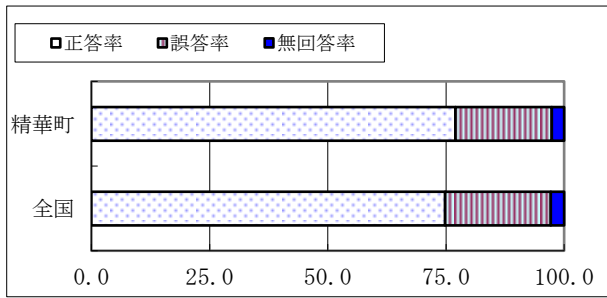


小学校国語科

平均正答率の比較

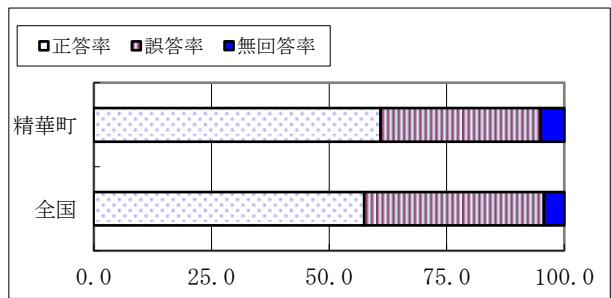
A問題



■国の状況
正答率は約75%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解していると言えます。

■精華町の状況
全国との関係において、正答率が約2%程度高く、良好な結果であると言えます。

B問題

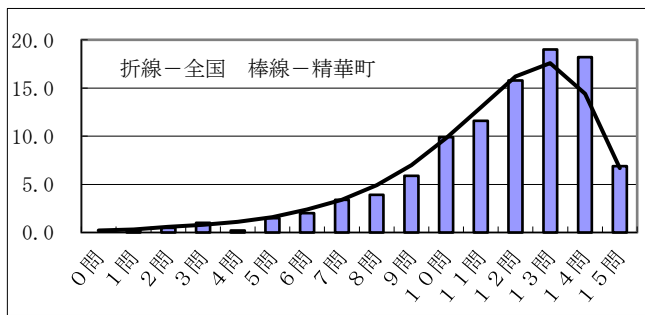


■国の状況
正答率が約57%であり、A問題と比較し「活用の力」において、課題が見られます。

■精華町の状況
正答率は全国を上回っており、学習成果が見られます。

正答数の分布比較

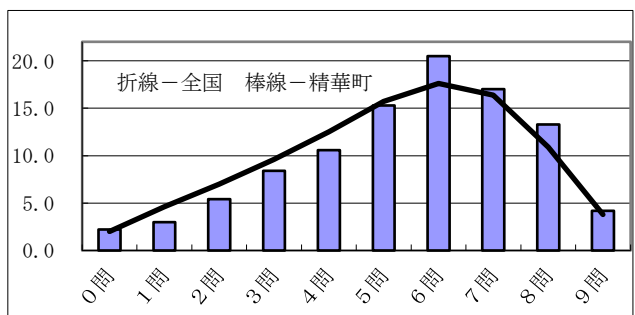
A問題



■国の状況
正答数は13問をピークに右肩上がり山型の分布を示しています。

■精華町の状況
全国との比較において、13、14問をピークに右寄りの分布を示しており、良好な結果と言えます。

B問題

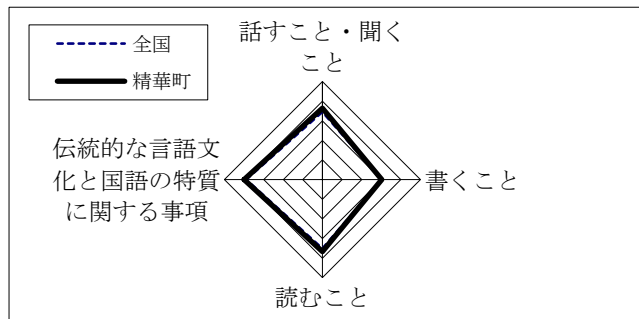


■国の状況
正答数は6問をピークとするなだらかな山型の分布を示しています。

■精華町の状況
やや右寄りの正規分布であり、概ね良好な結果であると言えます。

領域・観点等の比較

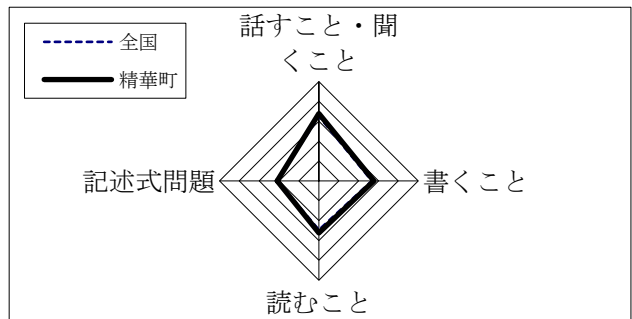
A問題



■国の状況
4つの領域において、概ねバランスよく力がついていると言えます。

■精華町の状況
全国と比較しても、各領域とも良好であると言えます。

B問題



■国の状況
「記述問題」においては、他の領域と比較して、課題が見られます。

■精華町の状況
全国と同じ傾向を示しており、各項目とも全国を上回っています。